

農林水産商工常任委員会提出資料

(令和4年10月12日)

項 目	ページ
■ 農林水産部試験研究課題に係る令和4年度外部評価委員会の結果について 【農林水産政策課】……………	2
■ 主要農産物の生産販売状況について 【生産振興課】……………	4
■ 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会における鳥取県の成績について 【畜産課】……………	6
■ 東京2020オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザ提供材の 後利用アイデア審査結果について 【県産材・林産振興課】……………	8
■ スギ・ヒノキ特定母樹の閉鎖型採種園竣工式について 【森林づくり推進課】……………	9
■ 山陰旋網漁業協同組合の共同利用冷凍冷蔵施設整備について 【水産振興課、境港水産事務所】……………	10
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課、県産材・林産振興課】……………	12

農 林 水 産 部

農林水産部試験研究課題に係る令和4年度外部評価委員会の結果について

令和4年10月12日
農林水産政策課

外部の有識者の方々による幅広い視点をもとに試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術の確立を図ること等を目的として、試験研究課題の外部評価を行いましたので、報告します。

1 外部評価委員会

- (1) 実施時期 9月2日（オンライン開催）
- (2) 評価者 学識経験者（鳥取大学、公立鳥取環境大学）、流通・経済界（市場関係者）、生産者（農業・林業・水産業関係者）、消費者 計10名

2 評価結果（別紙参照）

- (1) 評価対象
 - ア 来年度から取り組もうとする研究課題（事前評価対象 11課題）
 - イ 4年以上の試験研究課題のうち研究期間が中間に達した研究課題（中間評価対象 4課題）
- (2) 評価結果の概要
 - ア 事前評価課題 8課題は、研究を実施する。3課題は、研究内容・方法を見直して実施する。
 - イ 中間評価課題 4課題全て、研究を継続する。
- (3) 試験研究内容に関する委員の主な意見

ア 評価の高かった研究課題

試験場	研究課題名	委員意見
農業試験場 (事前)	「星空舞」のブランド力を強化する研究	高温時の品質向上など課題が明確化されており、研究の成果が上がることを期待できる。
園芸試験場 (事前)	園芸産地の今と未来を見据えた病害虫防除対策	農業生産を行う上で病虫害対策は常に必要であり、研究を継続していくことが必要である。
畜産試験場 (事前)	豆乳おからの飼料利用に関する研究	廃棄物である豆乳おからが飼料として製品化され、安価に利用できるようになることを望む。
中小家畜試験場 (事前)	「鳥取地どりピヨ」の遺伝資源復元技術の確立	遺伝子資源を保っていくのは、試験場の重要な事業。ブランド力の向上と市場拡大を望む。
林業試験場 (中間)	県産材の建築用途を拓げるJAS規格材の利用技術に関する研究	県産材が適材適所で利用出来るようになり用途が広がることを期待する。
栽培漁業センター (中間)	ナマコ増殖試験	ナマコ資源が増えて漁業者の収益増になること、地元市場で安価に購入出来るようになることなどを期待する。

イ 研究内容・方法を見直して実施する研究課題

試験場	研究課題名	委員意見
農業試験場 (事前)	水田農業経営の効率化に関する調査研究	水田農業の経営安定はとても重要な課題であるため、課題毎の数値目標を定めて研究すべき。
	有機・特別栽培技術開発試験	有機・特別栽培における現実の課題に注力し、もう少し課題を明確化して取り組むべき。
林業試験場 (事前)	荒廃農地林地化のための適地判定技術の確立	荒廃農地を林地等にすることの意義をもっと明確にして、メリット・デメリットなども整理して研究すべき。

3 今後の取組

- ・委員の専門性の高い意見や助言も踏まえながら、今後の試験研究課題への反映を行い、試験研究のより効率的な実施及び広く普及可能な技術の確立を図る。
- ・今回の評価結果をホームページ等で公開し、農業者をはじめ、広く一般県民の皆様に試験研究への理解促進を図る。

農林水産部試験研究機関の試験研究課題外部評価委員会 評価結果

試験場	区分	試験研究課題名	試験期間	合計点 (15点中)	総合評価
1 農業 試験場	事前	水田農業経営の効率化に関する調査研究	R5 ~ R9	11.6	○
	事前	有機・特別栽培技術開発試験	R5 ~ R9	11.3	○
	事前	「星空舞」のブランド力を強化する研究	R5 ~ R7	13.0	◎
4 園芸 試験場	事前	園芸産地の今と未来を見据えた 病虫害防除対策	R5 ~ R9	13.1	◎
	事前	地球温暖化に対応した白ネギの安定生産技術と弓浜特産野菜の栽培改善	R5 ~ R9	12.4	◎
6 畜産 試験場	事前	豆乳おからの飼料利用に関する研究	R5 ~ R7	14.1	◎
7 中小家畜 試験場	事前	「鳥取地どりピヨ」の遺伝資源復元技術の確立	R5 ~ R8	12.8	◎
	事前	「大山ルビー」の継続的な生産体制の構築	R5 ~ R7	12.6	◎
	中間	ゲノム育種価を活用した大山ルビーの育種改良	R2 ~ R6	12.4	◎
10 林業 試験場	事前	荒廃農地林地化のための適地判定技術の確立	R5 ~ R7	11.3	○
	事前	県産スギ大径材の製材や乾燥における品質の向上に関する研究	R5 ~ R9	13.0	◎
	事前	鳥取県の環境に適したカラマツ初期保育技術の確立	R5 ~ R7	12.0	◎
	中間	樹齢に応じた「県産スギの材質の良さ」に関する研究	R2 ~ R6	12.3	◎
	中間	県産材の建築用途を拓げるJAS規格材の利用技術に関する研究	R2 ~ R6	12.5	◎
15 栽培漁業 センター	中間	ナマコ増殖試験	R2 ~ R7	12.1	◎

平均値	事前評価	中間評価
◎: 12点以上	研究を実施する。	研究を継続する。
○: 9点以上12点未満	研究内容、方法を見直して実施する。	研究内容、方法を見直して継続する。
×: 9点未満	実施を見合わせる。	研究を中止する。

評価項目	
事前評価	研究ニーズ・緊急性(5点満点) 研究計画・目標の整合性(5点満点) 生産者・消費者への波及効果(5点満点)
中間評価	必要性・社会情勢の変化(5点満点) 進捗状況及び達成見込み(5点満点) 生産者・消費者への波及効果(5点満点)

主要農産物の生産販売状況について

令和4年10月12日
生産振興課

10月3日現在の主要農産物の生産販売状況（全農とっとり販売速報等）について報告します。

1 園芸品目の生産販売状況

(1) 梨

ア 生産状況

- ・交配時期に好天に恵まれたことから、二十世紀、新甘泉ともに結実は良好で、初期生育も順調であった。梅雨時期の少雨で一時肥大が鈍ったものの、夏季の降雨によって回復し、収穫果実は大玉に仕上がりと、糖度は平年並みであった。
- ・台風11号及び14号による強風で、一部地域で落果被害等が発生した。

イ 販売状況

- ・数量は、気象災害の発生が少なかったことに加え、大玉中心となり、二十世紀は対前年119%、新甘泉は162%に増加した。
- ・単価は、前年をやや下回ったものの、二十世紀は過去3番目、新甘泉は過去2番目の高値となった。
- ・販売金額は、出荷数量が増加したことで、二十世紀、新甘泉とも前年を上回った。

【梨】面積R4年（見込）：378ha（R3：392ha）、生産者数R4年（見込）：904戸（R3：940戸）

品種	区分	面積 (ha)	数量 (t)	単価 (円/kg)	販売金額 (百万円)
二十世紀	R4年度	200(見込)	3,067	426	1,306
	R3年度	213	2,572	474	1,219
	前年比	94%	119%	90%	107%
新甘泉	R4年度	69(見込)	911	662	603
	R3年度	67	561	677	380
	前年比	103%	162%	98%	159%

(2) 柿（輝太郎）

ア 生産状況

- ・交配条件はよく、その後の天候にも恵まれ、肥大は順調に推移した。9月20日の査定会では、玉太りは平年並みで、糖度は15.8度とH26年以降2番目の高糖度に上がった。
- ・台風11号及び14号による強風で、葉が果実にこすれて果面にスレ傷が発生した。

イ 販売状況

- ・初販売日は9月26日（前年9月28日）で、出荷は10月下旬まで続く予定である。
- ・数量は対前年165%に伸びており、単価は前年並みの高単価を維持していることから、販売金額も大幅に増加している。
- ・台風によるスレ傷の影響で、出荷果実の赤秀率はやや低下している（R3:25.8% → R4:16.6%）。

【柿】面積R4年（見込）：130ha（R3：133ha）、生産者数R4年（見込）：517戸（R3：533戸）

品種	区分	面積 (ha)	9月26日～10月3日までの販売実績(累計)		
			数量 (t)	単価 (円/kg)	販売金額 (百万円)
輝太郎	R4年度	21(見込)	12.4	696	8.6
	R3年度	20	7.5	697	5.2
	前年比	105%	165%	100%	165%

(3) 白ネギ

ア 生産状況

- ・春ネギは概ね順調に越冬し、ほぼ昨年並みの出荷量となった。夏ネギは初出荷を例年より5日早くスタートしたが、出荷序盤は高温少雨で、収穫物の重量が増加しにくいといった影響があった。8月以降はまとまった降雨はあったものの、降雨後の高温による根腐れ等もあり、出荷量はほぼ昨年並みとなっている。

イ 販売状況

- ・数量、単価、販売金額は、ほぼ前年並みの結果となっている。

【白ネギ】面積R4年（見込）：362ha（R3：361ha）、生産者数R4年（見込）：928戸（R3：947戸）

区分	4月1日～9月30日までの販売実績(累計)		
	数量(t)	単価(円/kg)	販売金額(百万円)
R4年度	2,535	387	982
R3年度	2,596	395	1,026
前年比	98%	98%	96%

(4) 県の対応状況

- 今後の秋冬野菜、晩生梨及び柿等について、農業団体との連携のもと、新型コロナウイルス感染症の状況や気象情報、市場価格の動向及び生産現場の状況等を見極めながら、対応を検討していく。

2 水田品目の生産販売状況

(1) 主食用米等の作付状況

- 本県では、各地域の販売計画に基づく生産数量と、全国ベースの減産数量を考慮し、県農業再生協議会において令和4年産米生産数量目標（面積換算で11,745ha～12,303ha）を設定した。主食用米作付面積は、目標の範囲内となる11,957ha（対前年483ha減）となった。

(単位：ha)

	主食用米 【生産数量目標面積換算値】		飼料用米	WCS用稲	大豆 (水田)	ブロッコリー (水田)	白ネギ (水田)
	うち星空舞						
R3	12,440 【12,227～12,623】	1,256	707	338	630	380	199
R4	11,957 【11,745～12,303】	1,310	837	365	686	403	206
増減	△483	54	130	27	56	23	7

(出典：水田台帳（8月末時点）)

(2) 令和4年産米の収穫状況

- 早生品種のコシヒカリ、ひとめぼれの収穫は、9月20日現在で7割程度の進捗となっている。
- 本県オリジナル品種である星空舞は、9月中旬から収穫が始まり、9月20日現在で2割程度の進捗となっている。
- 中生品種のきぬむすめは、9月末から収穫が始まり、10月上・中旬が収穫最盛期となる見込みである。

(3) 令和4年産米概算金の状況

- 県内各JAは、8月末に令和4年産米概算金を決定し、9月上旬から中旬にかけて、生産者へ情報提供を行ったところである。
- 品種別の1等米価格は、大幅下落となった令和3年産に比べ、60kgあたり300円から500円の引上げの方針を示している。
- 米の販売環境は回復基調となっているとの見方がある一方、業務用需要はコロナ前の水準には戻っておらず、依然として全国的に例年以上の在庫量となっていることから、各JAは概算金の大幅な引き上げに慎重姿勢となったものと推察される。

(4) 県の対応状況

- 農林水産省が令和4年産の作況等を踏まえ11月頃に示す「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」において、国全体の令和5年産主食用米需要量が公表される。
- 本県では、12月上旬頃にJAグループ及び県等で構成する県農業再生協議会において、本指針及びJAグループの需要に応じた販売計画を勘案し、令和5年産の生産数量目標の設定について協議する予定である。

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会における鳥取県の成績について

令和4年10月12日
畜産課

10月6日（木）から10日（月）にかけて鹿児島県で開催された第12回全国和牛能力共進会の鳥取県の成績について、以下のとおり報告します。

1 鳥取県の主な成績

第1区（若雄）で優等賞6席以内を達成したほかは、目標に届かなかった。

※目標：第6区（総合評価群）、第7区（脂肪の質評価群）は首席、名誉賞獲得、その他群出品区は優等賞3席以内。単品区は優等賞6席以内。

(1) 種牛の部

第1区（若雄）は優等賞4席（前回大会 一等賞4席）、第4区（繁殖雌牛群）は優等賞5席（前回大会 優等賞8席）、第5区（高等登録群）は優等賞5席（前回大会 優等賞7席）で前回大会を上回る成果を達成した。新設された次世代を担う農業大学校の特別区では優等賞8席に入ることができた。

(2) 肉牛の部

第6区（総合評価群の肉牛群）で11位、今大会新設区の第7区（脂肪の質評価群）では優等賞6席に入ったものの、第8区（去勢肥育牛）では二等賞と前回大会を下回る結果となってしまった。

※鳥取県代表牛の成績詳細は次頁参照

2 今後の予定

10月中に、鹿児島大会の成績の検証と今後の出品対策について検討することとしており、第13回全国和牛能力共進会（令和9年に北海道で開催予定）に向けた新たな取組を進めていく。



第12回全国和牛能力共進会鳥取県出品牛成績一覧

出品区	出品牛			出品者		鳥取県の成績				
	名号	父	母 (母の父)	住所	氏名	今回 (順位)	前回 (H29宮城) (順位)	上位成績		
種牛区	1区 (若雄)	とうほういち 登鵬1	白鵬85の3	ひさよ7 (勝忠平)	琴浦町	鳥取県畜産試験場	優等賞4席 (4/21)	一等賞4席 (19/22)	首席 鹿児島 2席 大分 3席 岩手	
	2区 (若雌の1)	あやだいせん	大山雲	あやはくほう (白鵬85の3)	伯耆町	田中 裕之	一等賞1席 (18/33)	優等賞9席 (9/33)	首席 大分 2席 宮崎 3席 鹿児島	
	3区 (若雌の2)	なおひら5	幸紀雄	なおひら3 (白鵬85の3)	伯耆町	宮崎 浩樹	優等賞9席 (9/32)	優等賞8席 (8/32)	首席 宮崎 2席 鹿児島 3席 宮崎	
	4区 (繁殖雌牛群 (血縁の近い雌牛3頭1群))	しばはくひめ	白鵬85の3	しばひめ3833 (隆之國)	伯耆町	木嶋 真理子	優等賞5席 (5/18)	旧5区 優等賞8席、 乳微賞 (8/18)	首席 鹿児島 2席 宮崎 3席 北海道	
		ひろしらきよ	百合白清2	ひろふくひさ1 (安福久)	大山町	小谷 茂				
		125ひろさかえ	百合白清2	第12ひろさかえ (勝忠平)	伯耆町	木嶋 泰洋				
	5区 (高等登録群(母、娘、孫の3頭1群))	しばひめ3833	隆之國	しばひめ38 (勝忠平)	伯耆町	渡邊 貞男	優等賞5席 (5/16)	旧6区 優等賞7席 (7/17)	首席 鹿児島 2席 宮崎 3席 北海道	
		りんえい34	白鵬85の3	しばひめ3833 (隆之國)	伯耆町	木嶋 泰洋				
		りんえい341	百合福久	りんえい34 (白鵬85の3)	伯耆町	木嶋 泰洋				
	6区 (総合評価群(種牛群、4頭1群))	べりいはびねす	元花江	わかなはびねす (白鵬85の3)	伯耆町	田中 裕之	優等賞10席 (10/15)	旧7区 優等賞2席 (2/16)	首席 鹿児島 2席 宮崎 3席 島根	
		さくら	元花江	やまと (白鵬85の3)	伯耆町	宮崎 浩樹				
		あやひめりりい3	元花江	あやひめ22 (白鵬85の3)	伯耆町	木嶋 泰洋				
いとはな		元花江	いとはくほう (白鵬85の3)	日南町	山形 美智也					
肉牛区	6区 (総合評価群(肉牛群、3頭1群))	最幸	元花江	はびねす (隆之國)	伯耆町	前田 皓	種牛群順 第7位	種牛群順 第5位	種牛群 1位 宮崎 2位 鹿児島 3位 兵庫	
		花白鵬	元花江	はくほうたから1 (白鵬85の3)	若桜町	津村 将彦				
		花福国	元花江	たかふくなり (隆之國)	河原町	(株)谷口畜産				
	7区 (脂肪の質評価群(3頭1群))	安都鵬	白鵬85の3	やすみやこ (勝忠平)	智頭町	(株)うしぶせ ファーム	優等賞6席 (6/21)	肉牛群順 第11位	肉牛群順 第1位	肉牛群 1位 島根 2位 鹿児島 3位 岐阜
		美津重047	白鵬85の3	みほ5の7 (隆之國)	伯耆町	前田 皓				
		関島白鵬	白鵬85の3	せきはくふくひさ (安福久)	倉吉市	鳥飼 雄太郎				
8区 (去勢肥育牛)	隆照久	隆福也	ぎんてる (安福久)	鳥取市	(有)菊丸ファーム	二等賞 (47-58/58)	前回9区 優等賞17席、優 良枝肉賞 (17/78) 二等賞 (63/78)	首席 鹿児島 2席 島根 3席 岐阜		
特別区	てん	白鵬85の3	しばひめ313 (百合茂)	倉吉市	鳥取県立農業大学 校	優等賞8席 (8/24)		首席 鹿児島 2席 宮崎 3席 岩手		

※出品牛の成績は優等賞、1等賞、2等賞に区分され、その中で順位づけされる。最も良い順位は優等賞1席(首席)

東京2020オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザ提供材の 後利用アイデア審査結果について

令和4年10月12日
県産材・林産振興課

令和元年度に東京オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザに提供した県産材約8m³の活用策・デザインをもってその実現を図るため、県民の方から広くアイデアを募集し、審査会で最優秀賞等を選定したので、審査結果を報告します。

1 審査日時: 令和4年8月29日(月)午前10時から午前11時40分

2 場 所: 県庁第14会議室(議会棟3階)

3 審査委員

所 属	役職	氏名
(公財) 鳥取県スポーツ協会	会 長	林 昭男
(一社) 鳥取県障がい者スポーツ協会	会 長	後藤 裕明
公立鳥取環境大学	環境学部 長	遠藤 由美子
山陰三ツ星マーケット	代 表	渡世 唱子
(株) n i d o	代表取締役	中村 彩
銘木工房「ゆら木」	代 表	表 飛悠人
鳥取県農林水産部森林・林業振興局	局 長	池内 富久 ※審査委員長

4 審査結果

区分	作品名	応募者(所属・応募時の学年等)
最優秀賞	MICHISHIRUBE(ペルトパーテーションスタンド)	西川賢治(米子高専准教授)
優秀賞①	表彰台	天川敏之(智頭農林高校)
優秀賞②	ソーシャルディスタンスベンチ	山田希仁(智頭農林高校)
佳作①	Re△born(通気性の良いベンチ)	梅林蒼(米子高専2年)
佳作②	オブジェ「受け継がれる灯火」	川部知歩・佐々木律・高橋叶羽(米子高専3年)
佳作③	組子でつなぐ思い出テーブル	足澤麗
佳作④	語らいの湯(足湯)	山名歩花(倉吉東高2年)
佳作⑤	たいいくかん時計	山本きこ

5 審査の視点

- (1)レガシーとしてふさわしいか
- (2)木の魅力を伝えるものか
- (3)デザイン・コスト面で実現可能か

6 審査会の状況

- ・最優秀賞作品は審査員から高評価であった。
- ・審査会では「表彰台はフレキシブルで面白い。」「ソーシャルディスタンスは時代を象徴している。」佳作の「語らいの湯」はベンチに特化すれば、おもしろいアイデアになると思う等の意見があった。

7 今後の予定(目安時期)

最優秀デザインを基に加工(R5年3月まで) →お披露目会・スポーツ施設等に寄贈(R5年4月以降)

(参考)応募概要

(1)募集期間: 令和4年2月17日~3月17日

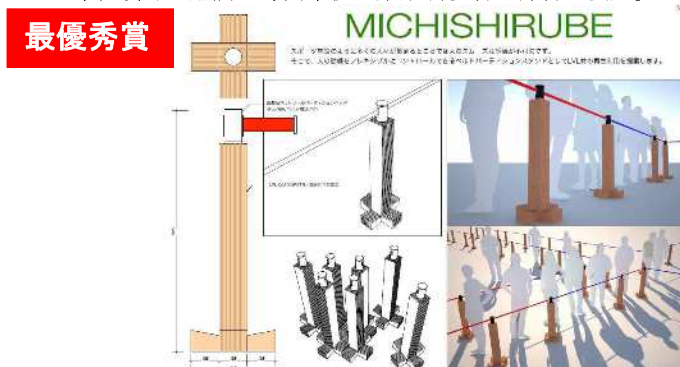
(2)アイデア内容: 35点

ベンチ・テーブル(14点)、遊具:ブランコ・卓球台等(3点)、スポーツ関係:表彰台・バックパネル等(3点)、オブジェ(2点)、生活調度品:本棚・時計台等(13点)

(参考)他の自治体の後利用例:林野庁からの聞き取り

ベンチ、テーブル、遊具、積み木、ペン立て、受付カウンター、公共施設内装材等。

なお、智頭町は辻調理専門学校東京新校舎の部材に使用。



スギ・ヒノキ特定母樹の閉鎖型採種園竣工式について

令和4年10月12日
森林づくり推進課

日本製紙（株）と鳥取県山林樹苗協同組合（県苗組）は、倉吉市大谷茶屋地内に閉鎖型採種園を整備し、令和4年10月からスギ・ヒノキ特定母樹*の種子生産に着手します。

民間・苗組が協業しての取組は全国初であり、「鳥取モデル」として注目を集めているところです。

令和12年度までに順次採種園を整備して、県内外に年間100万本の苗木を供給する計画であり、このたび、最初の生産施設2棟が完成したことから、関係者の出席のもと、竣工式が執り行われることとなりましたので報告します。

※特定母樹とは

「間伐等特措法」（平成25年改正・令和3年延長）に基づき、森林のCO2の吸収固定能力の向上のため、農林水産大臣が特に成長等に優れ、花粉量が少ないものを「特定母樹」として指定。

<特定母樹の基準>

- ・成長が良い（在来系統の概ね1.5倍の材積）
- ・材の剛性が同様な林分の平均以上
- ・採材に支障のない程度の幹の通直性
- ・一般的なスギ・ヒノキの概ね半分以下の花粉量

1 竣工式の概要

- (1) 主催 日本製紙株式会社
- (2) 開催日時 10月28日（金）午後1時から午後2時30分
- (3) 場所 倉吉採種園（倉吉市大谷茶屋字井座原883-85、旧園芸試験場生物工学研究室ほ場）
- (4) 式典の内容 ①神事、②主催者あいさつ、③来賓祝辞、④採種園見学
- (5) 主な出席者
(日本製紙（株）関係) 日本製紙（株）取締役会長、日本製紙木材（株）西日本支店長、その他関係役員
(林野庁関係) 林野庁研究指導課長、鳥取森林管理署長
(鳥取県関係) 鳥取県知事、鳥取県議会議長、農林水産商工常任委員会委員、森林・林業振興局長、中部総合事務所長
(関係自治体関係) 倉吉市長
(山林樹苗協同組合関係) 全国山林種苗協同組合連合会専務理事、鳥取県林業種苗需給連絡協議会長、県苗組代表理事
(その他) 県内林業関係団体、地元関係者 等

2 採種園の概要及び協業体制

(1) 閉鎖型採種園の概要

- ・場所:倉吉採種園（県有地を有償貸付け）
- ・仕様:ビニールハウス2棟（間口7.2m×奥行23m×高さ5m）、点滴式自動灌水
- ・規模:2棟で苗木10万本分の種子を供給可能
- ・メリット:外来花粉の防除、環境制御による早期採種、採種量増加、安定生産 等



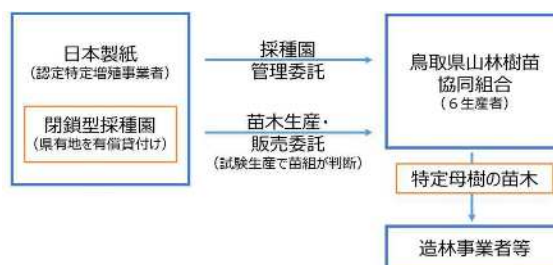
(2) 日本製紙と県苗組の協業体制

<日本製紙>

- ・国から母樹の配布を受け、自社で増殖し、採種園へ定植
- ・生産した種子を県苗組へ配布し、苗木生産を委託

<県苗組>

- ・日本製紙からの受託により閉鎖型採種園を維持管理
- ・日本製紙の技術指導のもと、苗木を受託生産
- ・県苗組の流通ルートに沿って県内外へ苗木販売



3 特定母樹の種苗供給計画

令和4年10月 閉鎖型採種園造成（以後、順次増設）

令和5年10月 種子供給開始

令和7年3月 苗木初出荷（スギ・ヒノキ4万本生産見込み）

※R12には森林・林業振興ビジョンの皆伐再造林目標320haの達成に必要な苗木約96万本生産できる見込み

山陰旋網漁業協同組合の共同利用冷凍冷蔵施設整備について

令和4年10月12日
水産振興課、境港水産事務所

境港では、数年前から中小仲買事業者のための共同利用冷凍冷蔵施設の整備への要望が仲買業者等水産業界関係者から出されていたところ、老朽化が進む山陰旋網漁業協同組合（以下「山まき」という。）の冷凍冷蔵施設も現在保有しているフロンのなくなるまでに改築が必要な状態にあり、山まきから、業界が求める共同利用機能を合わせた冷凍冷蔵施設をみさき会館の跡地に、現有冷凍冷蔵施設とは別に整備したいとの希望が示されました。

このため、令和4年5月から「さかいみなと漁港・市場活性化協議会」（以下「協議会」という。）及び、協議会で設置した共同利用冷凍冷蔵施設WG（以下「WG」という。）で、関係者の意見を聞き、整備計画の妥当性について議論してきましたが、このたび、共同利用冷凍冷蔵施設の整備内容について賛同が得られました。

県としても境港の冷蔵能力が向上することは水産業界の要望に沿うことから、みさき会館敷地及び周辺土地を売却し、整備することに同意しましたので、今後の整備計画と合わせて報告します。

1 整備計画がまとまるまでの経過

- ・当初、みさき会館敷地及び周辺土地（約5,000㎡）のみでの整備を予定していたが、そこだけでは狭いため、みさき会館と山まき倉庫の間の港湾道路をソーラス区域に移設して、山まき倉庫を含めた一体の敷地として整備することとした。（約9,600㎡）
- ・山まきの既存冷凍冷蔵庫もフロンの在庫がある間は運用し、冷凍冷蔵能力向上による他県船誘致、加工業者向けの水産物の確保につなげる。
- ・土地を貸付けるか売却するかについては、8月25日に開催した最終WGで、敷地を賃借とした場合8年程度で賃借料の累計が敷地購入費を超えることと、賃借料が共同利用施設の使用料に転嫁されることから、利用者の負担軽減のためにも県に土地を売ってもらいたい、という意見が大半を占めた。
- ・この意見を踏まえて検討し、売却することとした。

〈参考〉過去の売却例（漁港区域）

H26年 直売センター 土地8,563.66㎡、建物1,949.84㎡（売却額：69,200千円 山まき）

H22年 流通会館敷地 4,143.26㎡（売却額：29,838千円 境港水産流通協同組合）

2 みさき会館入居者及び施設の今後の予定

- ・みさき会館入居者は、令和4年8月に新築された2号上屋に移転済又は今後移転することに了解済である。
- ・トラック運転手には1号上屋の休憩室を利用させていただくこととし、シャワー施設は利用者が少ないので廃止し周辺の類似施設を案内する。

3 共同利用冷蔵施設の整備計画

共同利用冷凍冷蔵施設（漁港区域）の整備は、国の水産基盤整備事業（国2／3補助）を活用し、併設するセレクトター工場（港湾区域）の整備は、国の水産業競争力強化緊急施設整備事業（国1／2補助）を活用する。

山まきが整備する施設一覧

施設名	実施年度	国補助金	事業費（うち山まき負担）
共同利用 冷凍冷蔵施設	R5～ 6年度	水産基盤整備事業（国2／3）	27億円（9億円）
セレクトター工場	R6年度	水産業競争力強化緊急施設整備事業 （国1／2）	7億4千万円（3億7千万円）
合計			34億4千万円（12億7千万円）

※事業費には消費税は除く。

〈参考〉共同利用冷凍冷蔵施設整備後の山まきの冷凍・冷蔵能力

	冷凍能力（ト/日）	冷蔵能力	備考
〈S54年度整備〉既存施設	75ト	5,000ト	在庫フロンの運用
〈新設〉共同利用施設	90ト	5,000ト	
合計	165ト	10,000ト	

※これによりR6年度末の境港全体の冷凍・冷蔵能力は、冷凍1,230ト、冷蔵71,800トとなる。

<建設予定地>



※ 道路を付け替えすることで、市場利用者の利便性向上に繋がる。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和4年10月12日
農地・水保全課
県産材・林産振興課

【新規分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課 (東部農林事務所)	古海第1地区取水管更新 (管渠更生)工事	鳥取市 古海	大和建设株式会社 取締役社長 影井 一清	142,670,000円 (設計額155,455,300円) 落札率91.8%	令和4年9月30日 ～ 令和5年3月15日	令和4年9月30日	【工事内容】 管路工事 管更生工 L=88m(φ1350及び1800mm) 仮設工 仮締切工 720袋(大型土のう) 施工ヤード工 400m ² (敷鉄板)	制限付一般競争入札 12社 令和4年9月20日 開札

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
県産材・林産振興課 (中部総合事務所農林局)	林業専用道富海福山線開設工事(福山工区)	東伯郡三朝町 福山ほか	株式会社クラー 代表取締役 西村 博文	(当初契約額) 124,190,000円	令和3年4月1日 ～ 令和3年12月23日	(当初契約年月日) 令和3年3月22日	【工事内容】 施工延長680m(320m) 掘削工 19,821m ³ 盛土工 1,274m ³ 土場施設 14,443m ³ 植生工 6,112.5m ² 路盤工 3,716.8m ² 補強土壁工 3箇所 大型かご枠 2箇所	○変更内容 令和4年7月、8月の局地的な大雨により被災した土場施設の復旧方法の検討及び隣接工事との工程調整による工期の延長
					(変更後工期) 令和3年4月1日 ～ 令和4年3月25日	(第1回変更契約年月日) 令和3年12月13日		
				(第2回変更後契約額) 125,577,100円 変更額 1,387,100円	(変更後工期) 令和3年4月1日 ～ 令和4年8月31日	(第2回変更契約年月日) 令和4年3月22日		
					(変更後工期) 令和3年4月1日 ～ 令和4年9月30日	(第3回変更契約年月日) 令和4年8月25日		
					(変更後工期) 令和3年4月1日 ～ 令和4年11月30日	(第4回変更契約年月日) 令和4年9月29日		
	林業専用道富海福山線開設工事(富海工区)(ゼロ国債)	倉吉市富海	打吹建設株式会社 代表取締役 小谷 裕司	(当初契約額) 138,600,000円	令和3年4月1日 ～ 令和4年1月4日	(当初契約年月日) 令和3年3月19日	【工事内容】 施工延長L=552m(320m) 掘削工 14,750m ³ 盛土工 2,915m ³ 盛土工(土場施設) 7,156m ³ 場外残土処分工 3,000m ³ 植生工 5,549.2m ² 路盤工 3,411.0m ² 補強土壁工 11箇所 プレキャストL型擁壁 3箇所	○変更内容 令和3年7月豪雨により被災した進入路が復旧工事施工により通行止めとなり再度工程調整したこと、また、令和4年7月、8月の局地的な大雨により盛土法面の浸食が発生し、その復旧のため工程が遅延したことによる工期の延長
					(変更後工期) 令和3年4月1日 ～ 令和4年3月25日	(第1回変更契約年月日) 令和3年12月16日		
				(第2回変更後契約額) 150,156,600円 変更額 11,556,600円	(変更後工期) 令和3年4月1日 ～ 令和4年9月30日	(第2回変更契約年月日) 令和4年3月17日		
					(変更後工期) 令和3年4月1日 ～ 令和4年10月28日	(第3回変更契約年月日) 令和4年9月27日		